

三条市食育の推進と農業の振興に関する計画 主な取組の実施状況(平成28年度9月末現在)

資料№4

視点	基本方針	主要施策	主な取組	事業名	詳細	実施予定数	実施回数等	参加人数(人)	参加者の反応等
食を通じた健康づくり	望ましい食習慣の定着	米飯食の推進	米飯を主食とした朝食習慣の啓発	保育所食育推進事業	食育講座 ※1	28回	18回	499	「早寝早起きの大切さが分かった」「米飯を主食にバランス良く食べさせたい」等、朝食習慣や米飯を主食とする事の良さについて理解を促すことができた。
					給食試食会の保護者講話	20回	12回	391	講話後に栄養士に気になったことを質問するなど、家庭の食生活を振り返る機会としていただいた。
				学校食育推進事業	小5食育講話 ※2	21回	11回	529	「早寝早起をがんばりたい」「ご飯が体に良いことが分かった」等、朝食習慣や米飯を食べる事の良さについて気づきを促すことができた。
				成人保健事業	特定健診結果説明会	35回	17回	126	栄養指導の中でバランスが偏っている方に対し、米飯を主食としたバランス食について指導し、実践に向けて導くことができた。
					生活習慣病予防教室「食事編」	3回	0回	-	10月、11月、1月実施
			和食の啓発	市民給食試食会	だしのとり方の実演	1回	0回	-	10月実施
				離乳食チャレンジ教室	だしのとり方の実演	12回	6回	88	参加者から「離乳食に天然のだしを使いたい」という声があり、若い親世代に対して和食の実践を促すことができた。
				保育所食育推進事業	食育講座においてだしのとり方実演、だしを活用した献立の紹介	28回	18回	499	だしを活用した献立の試食を通じて、「おいしかったので家でも作りたい」との声が多く、参加者に対して和食の実践を促すことができた。
			地産地消推進店の活用	地産地消推進店認定制度の活用 ※3	地産地消推進店が健康に関する情報に関心を持ち、啓発活動や健康食の提供に取り組めるよう働きかけを行う。	-	-	-	
			共食の推進	高齢者への共食推進	高齢者の共食推進事業	ふれあい・いきいきサロン、老人会、さんちゃん健康サークル等を対象に共食効果について周知し共食実施につなげる。	-	-	-
		学校給食を活用した会食を定例実施につなげる。				-	1回	-	嵐南小地域交流施設において学校給食を活用した共食を実施し、参加者から「とても楽しかった。また実施してもらいたい」等の声があった。
		あさイチごはん事業			ステージえんがわで朝食提供を行い、気軽な外出や交流を促進する。	通年	2と7がつく日	935	(7月までの暫定値)

※印は再掲の取組

視点	基本方針	主要施策	主な取組	事業名	詳細	実施予定数	実施回数等	参加人数(人)	参加者の反応等
食を通じた健康づくり	望ましい食習慣の定着	共食の推進	眠育と絡めた朝食における共食推進	保育所食育推進事業	食育講話 ※1再掲	/	/	/	
				学校食育推進事業	小5食育講話 ※2再掲	/	/	/	
					小5食育授業	21回	13回	306	朝食に何が足りないか気づき、主食・主菜・副菜のそろえ方を考える児童が多く、朝食の重要性について理解を促すことができた。
					中1食育授業	9回	4回	312	生徒から健康や学力と食事の関係について考えてもらう機会となり、改めて朝食の重要性について理解を促すことができた。
				母子健診時の栄養講話	母子健診時の集団指導	36回	18回	974	食事を基本とした生活リズムの講話において、成長ホルモンと絡めた内容を取り入れ、真剣に聞く母親の様子が見られた。
		多世代交流を通じた食文化の継承	食文化伝承事業(教室) ※4	食生活改善推進委員の地区活動を活用し、多世代交流につなげる。	-	-	-		
		食文化の伝承	郷土料理の指導者育成	食文化伝承事業(育成)	食生活改善推進委員を食文化伝承のリーダーとして育成する。	1回	0回	-	
			保育所及び学校での和食の継承	保育所食育推進事業	食育講座 ※1再掲	/	/	/	
					保育所巡回指導(食事マナー及び箸の指導)	224回	224回	2,801	栄養士が訪問する度に箸の持ち方を見せてくるなど、児童にとって食事マナーや箸の持ち方を学ぶ機会とすることができた。
			学校食育推進事業	和食講話	14回	10回	701	講話後の給食では、箸を正しく持とうと心がけている様子が見られ、食事マナーや箸の持ち方を見直す良い機会とすることができた。	
	米づくりと稲作文化の継承		生産者交流会	米農家との交流回数	7回	0回	-		
	多世代交流を通じた食文化の継承	食文化伝承事業(教室) ※4再掲	食生活改善推進委員の地区活動を活用し、多世代交流につなげる	/	/	/			
	食育推進機運の醸成	食育推進への理解促進	関係者との連携、協力体制の確立	指導者食育学習会	保育所及び学校の食育担当者を対象とした研修会の実施	2回	2回	56	将来の生活習慣病について、子どもの頃からの生活と関連づけて学習することができて良かったとの声があった。食育担当者から食育について理解を深めてもらう機会とすることができた。
				食育に関するアンケートの実施	地産地消推進店や保育所及び学校を対象に調査を行う。	1回	0回	-	
			新たな視点での「食育の日」の活用	食育の日に具体的に取組む内容の啓発	食育メールや広報さんじょう、給食だより等で周知する。	-	-	-	食育メールでは“野菜を一皿プラスしよう”や広報さんじょうでは特集を組み、ご飯をおいしく食べるためのレシピなどを掲載し、市民から好評であった。
			地産地消推進店の活用	地産地消推進店認定制度の活用 ※3再掲	地産地消推進店が健康に関する情報に関心を持ち、啓発活動や健康食の提供に取り組めるよう働きかけを行う。	/	/	/	

※印は再掲の取組